

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 気仙沼市立馬籠幼稚園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒988-0367
宮城県気仙沼市本吉町向畑14番地

E-mail: magome-yo@city.kesennuma

Website: _____

児童生徒数：男子 6 名 女子 5 名 合計 11 名

児童・生徒の年齢 3 歳～6 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 ())
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

1 食育と環境・・「作って食を楽しもう」～ 豊かな自然環境を活かした活動～
○畑を耕す→種を蒔く→育てる→収穫→食する→交流する→学ぶ等
一連の活動を教育計画に取り入れ園内研究と共に活動に取り込んでいる。また、地域の老人から学ぶそば打ち収穫祭や焼いも収穫祭等による交流活動を実施する。

—資料1参照—

2 A L Tとの交流・・「えいごで遊ぼう」

○馬籠小学校の配慮で直の英語に触れる機会を得た。身近に親しんでいる色や動物から英語に触れたり、外国の絵本を見たり、色あてゲームを行うことで楽しみながらできた。外国について感心を持つきっかけが作れた。

—資料2参照—

3 花壇再生プロジェクト・・・「きれいな町を作ろう」

○ユネスコ協会連盟と三菱UFJ銀行との連携から花の苗を活用し園内の花壇作りの他、プランターに寄せ植えした鉢を地域へ配布する。地域にもユネスコを通した幼稚園の活動を知ってもらうきっかけが作れた。

—資料3参照—

4 グリーンウェーブ植樹活動・・「親子で植樹をしよう」

○東日本大震災からたくさんの被害が見受けられ、幼児なりに自然が破壊されている地域を目にすることが多かった。そこで、高台にある地域の放牧施設に「自然の大切さ」や「緑を増やしていこう」という意識付けとして親子で植樹活動を行う。

—資料3参照—

5 タイ・カンボジアへ励ましのメッセージを送ろう

○洪水被害地の人たちに励ましのメッセージを送る。震災から多面において、たくさんの励ましのメッセージが届きお礼のカードを送っていた。今度は自分たちが励ましのメッセージを送るということで、また違った観点から活動に取組めた。

6 ユネスコを通して海外から届いたメッセージ

○たくさんの励ましのメッセージが届く。子どもたちと共にお礼のメッセージを送ろうと考えたが文面が解読できなかった。そこで国際交流で来園した講師の先生に通訳してもらうことにする。

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。
- 幼稚園教育でもこちらの欄に記載できるよう、今後も継続、創意工夫した教育内容を取入れられるよう精進していきたく思います。
- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。
- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)
- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)